

# 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 つくば市立荃崎第一小学校 】

1 実践テーマ	I・III・V
2 実施対象者 (学年・人数)	つくば市立荃崎第一小学校 全校児童 647名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 体育・学活・道徳 ) ② 行事名 ( オリンピアンに学ぶ会・パラリンピック学習会 ) ③ その他 ( 全校集会・オリパラコーナーの設置 ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	○講演や体験活動を通して、東京オリンピック・パラリンピック教育を推進するとともに、スポーツに対する興味・関心を高め、スポーツに親しむ態度を育てる。 ○車いすバスケットボールを通して、障害者に対する理解を深める。
5 取組内容	(1) 事前学習 ○全校集会 ・体育委員の児童らが、クイズや競技動画をもとにオリンピック・パラリンピックについて紹介した。 ○オリパラコーナーの設置 ・渡り廊下にオリンピック・パラリンピックの本や、新聞記事、クイズなどを掲示し、オリンピック精神の醸成を図る。 (2) 「オリンピアンに学ぶ会」 日時 令和元年12月5日(木) 10:45~12:20 対象 4・5・6学年 講師 筑波大学 助教 平岡拓晃さん 2012 ロンドンオリンピック男子柔道60kg級銀メダリスト 内容 ①講演「失敗＝ダメじゃない」 ・失敗に対する考え方 ・挑戦することの大切さ ・目標にむかって努力することの大切さ など ②実演・代表児童体験 ・背負い投げの実演、代表児童との投げ合い





(読売新聞記事掲載…令和元年12月6日付)

(3)「パラリンピック学習会」

日時 令和2年1月24日(金) 9:45~11:30

対象 1~3・6学年(体験は6年のみ)

講師 車いすバスケットボールチーム「T-ROCKETS」さん

内容 ①講演・実演

- ・生活用車いすと競技用車いすの違いやルールについて
- ・車いすバスケットを始めた経緯
- ・試合やシュートの実演 など

②体験

- ・車いす操作やドリブル
- ・代表児童+選手1名を入れて試合



(茨城新聞記事掲載…令和2年1月25日付)

6 主な成果

(1) 事前学習

- ・全校集会では、全児童が東京オリンピック・パラリンピックについて動画やクイズなどを通して楽しく学ぶことができた。
- ・オリパラコーナー設置では、児童が興味をもてそうなものや、今回の学習会の競技についての本を図書室から選んだり購入したりすることで、興味関心を高めることができた。また、児童はもちろん教職員や来校者の方々へのPRにもなった。

(2)「オリンピックに学ぶ会」

○オリンピックによる「失敗=ダメじゃない」という言葉が児童の胸に響き、児童一人一人が、諦めないで努力することや勇気を持って挑戦することの大切さを実感し、今後に生かそうとする考えをもつことができた。

	<p>(児童の感想より抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・逆上がりができなくて諦めていたけれど、平岡さんの話を聞いてもう一度頑張ってみようと思いました。体が小さくても女の子でも柔道ができることが分かりました。速いスピードで背中にいる人を投げる背負い投げはすごかったです。失敗したからと言い訳して逃げていたけれど、失敗を成功にできるようチャレンジしていきたいです。(4年)</li> <li>・平岡選手もいろいろな失敗があったけど、諦めずに練習を続けてきて銀メダルを取れたので、失敗は成功のもとだと改めて思いました。失敗を恐れないことと柔道のおもしろさを知りました。私はオリンピック競技のクライミングをやっているので平岡さんの言葉を胸に頑張りたいです。(5年)</li> <li>・「失敗＝成長」と考えて、失敗したことに向き合い、次に生かしていこうと思いました。失敗は誰にでもあるもので次が大切だということが分かりました。あきらめずに頑張れば夢は叶うんだと思いました。目の前で柔道を見たときは投げた後の音が大きくて迫力がありました。柔道の技が100種類あると聞いてびっくりしました。オリンピックで膝を痛めながらも戦っている姿を見て感動しました。体験を通して柔道を始めてみようと思いました。(6年)</li> </ul> <p>(3)「パラリンピック学習会」</p> <p>○パラリンピックや障害者スポーツへの関心が高まった。また、本校在籍児童の兄を紹介したことで、障害者や障害者スポーツをより身近に感じ、意欲的に話を聞いたり体験したりすることができた。</p> <p>(児童の感想より抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすを使ってシュートをしていてすごかったです。転んでも自分で起き上がられてすごかったです。習い事のサッカーをがんばりたいです。(1年)</li> <li>・車いすにのってゴールを諦めないところがすごかったです。止まるときに手で止めていてびっくりしました。障害がある人もない人も一緒に支え合っているのがかっこよかったです。(2年)</li> <li>・こんなに迫力とスピードがあって面白いんだなと思いました。バスケットがもっと好きになりました。普通の車いすとの違いや体が不自由な方もバスケットができることが分かりました。ほくもやってみたいです。(3年)</li> <li>・もっと簡単に動かせると思っていたけれど、ドリブルでさえまともにできませんでした。この体験を通して車いすバスケットが好きになりました。「中間の存在」が大切で周りの人に頼り、支えられながら生活していると聞き、自分も車いすの方を見かけたら声をかけたいと思いました。体の一部が自由に動かせなくても、全力でスポーツができることが分かりました。パラリンピックの他の競技にも興味がわいたので、2020 応援します。(6年)</li> </ul>
7 実践において工夫した点(事業の特色)	<p>○オリンピック種目・パラリンピック種目の両方を取り上げた。</p> <p>○パラリンピック学習会では、本校卒業生徒(在籍児童兄弟)に来てもらうことで、障害がある方を身近に感じ、理解をより深めるよい機会となった。</p> <p>○教室や廊下に、オリンピック・パラリンピックに関する情報や講師紹介資料などを掲示し、児童の興味関心を高め、意欲付けをした。</p> <p>○児童数が多いため、発達段階に応じて取り組み内容を変えた。</p>
8 主な課題等	<p>○よりよい学びとなるように、事前・事後指導を含めて年間計画を考えるとよかったが、推進校の指定を受けてからでは時間的に難しかった。</p> <p>○東京オリンピック・パラリンピック以降、どのように継続していくかが課題。継続するための費用確保も難しい。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>○オリパラコーナーを随時更新し、児童の興味関心が継続するようにしていく。</p> <p>○このような講演会や体験会などを可能な限り実施し、スポーツに親しむ心や豊かなスポーツライフの実現につなげていきたい。</p>